

## 教育研究評議会議事録（第92回）

日 時：平成24年 1月19日（木） 15時07分～16時20分

場 所：事務局第一会議室

出席者：藤井、岩淵、高畑、小川、菅原、西崎、井上（学部長事務代理）、長澤（由）、上村、長野、丸山、宇佐美、遠藤、新妻、西谷、藤代、八代、古賀、岡田  
欠席者：馬場、堺、長澤（孝）、山本

### 配付資料

◎国立大学協会臨時学長等懇談会（2012.1.10開催）資料

- 1 役員会（第350～351回）報告
- 2 学長・副学長会議（第215～217回）報告
- 3 第2回岩手大学三陸復興推進本部会議資料
- 4 平成24年度予算内示
- 5 岩手大学における国際交流科目に関する要項の一部改正について

### 報 告

#### 1. 国立大学協会臨時学長等懇談会報告について

学長から、別冊資料により、1月10日に開催された国立大学協会臨時学長等懇談会での平成24年度政府予算案等について次のとおり報告があった。

国の再生のため大学改革の促進が強く求められ、厳しい財政事情の中にあつて、国立大学改革強化推進事業（新規）や教育研究力強化基盤整備費が措置されたこと、文科省内にタスクフォースが設置され、大学の枠組を超えた連携事業、教育研究組織の大規模な再編成等、大学における機能強化のための改革の構想について随時ヒアリングが行われること、前記事業は運営費交付金の中で行われ、中期目標・中期計画の変更が伴うような中期的な改革の構想も対象とされていること等の説明があった。このことを受け学長から、各部局においてもそれぞれ事業にかかる検討を進め提案してほしいこと、その際、国レベルでの制度改革が必要なことがあれば併せて意見を出してほしいことが述べられた。

#### 2. 役員会（第350～351回）報告について

学長から、資料1により、前回の本会議以降に開催された役員会の審議内容等について報告があった。

### 3. 学長・副学長会議（第215～217回）報告について

学長から、資料2により、前回の本会議以降に開催された学長・副学長会議の主な審議内容について報告があった。

### 4. 岩手大学三陸復興推進本部会議（第2回）報告について

学長から、資料3により、1月12日に開催された第2回三陸復興推進本部会議の審議内容等について報告があった。東京海洋大学、北里大学との3大学連携協定締結を受け、連携推進会議等の設置が了承されたこと、1月7日に全国水産系研究者フォーラムを開催し、三陸の水産復興のための新たな研究・拠点形成に向けたキックオフ宣言を行ったこと等が報告された。

### 5. 平成24年度予算予定額について

財務部長から、資料4により、本学にかかる平成24年度予算の予定額について報告があった。運営費交付金が減額された中で、復興にかかる分がほぼ要求どおり措置されたこと、特別運営費交付金の各事業の概要、施設設備関係については共同獣医学科設置に伴う実験施設の新営や附属特別支援学校も増築を含む改修が措置されたとの報告があった。

### 6. 岩手大学における国際交流科目に関する要項の一部改正について

総務広報課長から、岩手大学短期留学特別プログラムの改定に伴って、国際交流科目に関する要項を一部改正したことの報告があり、資料5により、国際交流科目に該当する授業科目の審議機関を明確にしたこと、岩手大学短期留学特別プログラム体系の見直しと共に、現行では同要項の別表で定めていた当該授業科目をプログラム内に表記し実質化を図ったこと等の説明があった。

### 7. その他

◎高畑理事から、今月14日、15日に実施した大学入試センター試験にかかる協力に対し謝辞が述べられた。当該試験において「地理歴史・公民」問題冊子の誤配布があったこと、暖房機の騒音で試験に集中できなかったとの苦情が出されたことが報告され、学務部長からそれらの経過説明があった。大学入試センターとの協議を踏まえ、再試験を実施することとなり、当該受験生に意向確認を行ったところ、両科目とも再試験受験希望者がおり、21日（土）にすでに実施の試験時間と同じ時間帯で実施する予定であることが報告された。今回の一連の件について課題等を整理し、再発防止に努めることとした。

◎藤代委員から、本会議の運営に関し、①意思決定のプロセスの改善と②審議事項の見直しについて意見が出された。①の一例として、人事労務に関わる案件は、人事労務企画室会議と人事制度・評価委員会においてやりとりされ、議論が尽くされた後に評議会に諮られている。意思決定のシステムの改革を検討してほしい。②従前、改組等の審議も評議会には最終的な提案がなされるだけである、とて

も重要なことであり、検討の段階で議論すべきではないか、との発言があった。

学長から、②の件は、それぞれ当該の全学委員会に検討を委ねているところであり、検討段階のものをこの場で議論することには難しさを伴うところもあるし、最終的な議論の場であると思っていることが述べられた。

次いで、西谷委員から、推進本部が設置されてから評議会での審議事項が年々なくなってきた。現行のシステムがよいのか、推進本部会議をなくして評議会で審議した方がよいのか検討いただきたい。新妻委員からは、特に今月は先週開催した部局長会議と共通する報告事項は教授会ですでに報告済みであり、繰り返し、さらに一月遅れて教授会に報告する意味があるのかと感じているとの発言があった。

意見を受けて、学長からはいかに合意形成していくか検討したいことが述べられた。